

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・あーと村の参加者が減少傾向にある。このため、こども園、学校とも協議をし、教育の場や楽しめる場として魅力があるので、ものづくり体験、植物観察など内容を充実させ、地元住民の参加を得て交流を図り、利用者増加につなげる。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	あーと村の活性化	(10) 事業中 (1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月～令和8年11月	
(2) 実施場所	里山あーと村	
(3) 参加者数	40 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸小中一貫校・あーと村運営協議会	
4 取組内容	阿戸認定こども園園児、阿戸小学校低学年の児童などを中心とした阿戸の地域住民が、里山あーと村で里山あーと村の参加者と一緒にもものづくり体験、植物観察、ピザづくり体験等を通じて、多世代間の交流を深める。当該場所は、公共交通がないため、バスを借り上げて参加者の送迎を実施する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 里山あーと村は、近年地域住民の参加者が減少している。このため教育の一環としてこどもたちの自然体験活動等を行うことで地域の交流拠点としての活性化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 里山あーと村は、森林や農地など自然環境に恵まれており、こどもたちの教育の場や楽しめる場として期待されている。そこで、本事業を活用して、里山あーと村の利用者が増加して、地域住民の交流拠点となる。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・こどもの数が減少する中、内容を充実するとともに町外への広報活動に努め、参加者増を図る。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	ウォークラリー大会	(10) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年3月14日(雨天の場合 令和9年3月21日)	
(2) 実施場所	阿戸町内一円	
(3) 参加者数	160 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 阿戸町ウォークラリー大会実行委員会・いやしの里あと活性化プロジェクト	
4 取組内容	事前に申し込みをした3～5名のグループで、A、Bのコースに分かれて、クイズのポイント、ゲームのポイントを順に歩きゴールを目指す。1～3位、ポイント賞、ピタリ賞などを設け、参加者が楽しめる工夫を凝らす。ゴール後は参加者やスタッフに昼食を提供し、家族のみならず、住民相互のふれあいを深める。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 阿戸町の自然や文化、人に触れ合いながら、協調と協力の大切さを体験し、家族および地域住民相互のふれあいを深める。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) チームで協力して一つの目標に取り組み、また他チームとふれあうことで、家族や地域住民との結束を深めることができ、住民同士顔の見える関係をつくることができる。また、阿戸町を実際に歩いて回ること、地域のことを五感で感じることができ、郷土愛の醸成に寄与するほか、これをきっかけにウォーキングを習慣化する人が増えれば健康の増進にもつながる。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・こどもたちの学力向上を図る必要がある。昨年の成果を踏まえ引き続き夏休みの期間中、大学生などによる学習支援を行う。

・また、引き続きこども食堂を開設し、地域住民との交流を図る。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	コミュニティスクールの活性化	(10) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年7月21日～令和9年3月	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校・あと穂育園	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・民児協・阿戸小中一貫校・PTA	
4 取組内容	こどもの居場所づくりのため夏休みの期間中、阿戸中学校の図書室で地域ボランティアによる学習支援を行い、休憩時間で弁当や飲み物を提供する。また、子ども達と高齢者の交流を図るため、こども食堂を開設する。学習会7月21日～24日。こども食堂7月、12月、3月開設。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） こども達の長期休業中（夏休みなど）の学習の場を確保し、学力の向上を図るとともに歌を歌ったり、昔遊びを教えてもらったりするなどの体験を通じて、高齢者との交流を進める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 夏休み期間中に地域ボランティア（大学生、高校生など）が学習支援などを行うことにより学力の向上につながる。また、こども食堂を通じて、高齢者との交流が深まってくる。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・令和6年度始めた事業であるが、好評であった。こどもたちが袴づくりやとんどづくりなど主体的に活動できるよう内容を見直しながら実施していく。

・また、地域の方がたくさん参加できるよう広報を強化していく。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	とんどまつり	(10) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年12月～ 令和9年1月	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校 グラウンド	
(3) 参加者数	150 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸町連合町内会・阿戸小中一貫校学校運営 協議会	
4 取組内容	令和6年度、こどもたちの開催要望を受けて阿戸小中一貫校グラウンドで、とんどまつりを実施し、好評だった。今年度も、もちつき、袴づくり、とんどの作り方、焼いたもちを食べながら意見交換等を行うことで、多世代間の交流を図る。もちつき12月12日。とんど1月16日。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） こどもたちの開催要望を受けて実施したことを踏まえつつ、伝統文化の継承や町民の多世代交流を図ることを目的とする。また、とんどまつりを通じて、阿戸小中一貫校を核とした地域づくりを更に進める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 将来的に阿戸町各地で実施しているとんどを一か所に集約し、担い手不足を解消し、持続可能な行事にすることができる。また、規模を大きくし、多くの町民が参加し、地域の活性につながってくる。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・ 少子高齢化や若者の町外流出等により、チーム編成がむつかしくなっている現在、帰省する人、阿戸町に所縁のある人、更に、第75回大会を記念し他学区の体育協会にも参加をお願いするなどして、出場チーム数を増やし、伝統あるこの大会を継続していく。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	第75回 阿戸町駅伝大会	(10) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年1月1日	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校グラウンド及び阿戸町内一円	
(3) 参加者数	150 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸学区体育協会	
4 取組内容	阿戸町内7区間のコースを町内会対抗によりタイムを競う駅伝大会（オープン参加も可）事前に応援旗を各戸に配布し、大会当日沿道で応援していただき、町民全体で大会を盛り上げる。 75回大会を記念し、安芸区内の各体育協会にも参加要請をする。 75回大会を記念し、選手、来賓、大会関係者に記念品を配布する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 新年の阿戸町内を選手が力走り、町民の皆様に沿道で応援していただくことで、地域住民の健康の維持増進と活力ある町づくりを推進する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 少子高齢化や若者の町外流出等により、阿戸町に在住している人だけでは、チーム編成が厳しくなっている。そこで、帰省する人や阿戸町に所縁のある人、さらに他学区の体育協会にも積極的に参加してもらうことにより、出場チーム数が増え、伝統ある大会を継続していくことができる。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・やぐらの設置を外部に委託、提灯の電球交換、打ち上げ花火数を増やすなどにより多くの参加をしてもらうとともに、盆踊りへの参加をこどもたちに働きかけ、大会を盛り上げていく。

・

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	阿戸町盆踊り大会	(10) 事業中 (6 事業目)
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 8 月 15 日	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校 グラウンド	
(3) 参加者数	150 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・盆踊り大会実行委員会	
4 取組内容	阿戸町の伝統である盆踊り大会を開催し、町民のさらなる親睦と融和を図る。人手不足により、やぐらの設置を外部に委託し効率化を図るとともに提灯の電球を交換、打ち上げ花火数を増やすなどにより多く人に参加してもらうことにより、この大会を盛り上げていく。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 伝統文化である「阿戸音頭・阿戸踊り」を子どもから高齢者まで、町民こぞって参加し、継承するとともに町民の親睦や交流を深め地域の活性化を図っていく。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 小学生は授業の一環で、盆踊りを学んでいる。また、阿戸小中一貫校の運動会では、町民も参加して、盆踊りを楽しんでいる。特に、こどもの伝統文化に対する意識の向上が図られており、これからも期待される。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

- ・農林産物の品評会において多くの出品をお願いし農業祭を盛り上げる。
- ・また、ステージ発表や作品展示においても沢山の方に参加をいただき、楽しめる内容にする
とともに、参加者同士の親睦交流を図る。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	阿戸町民まつり	(10) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 11 月 15 日	
(2) 実施場所	広島市阿戸福祉センター	
(3) 参加者数	400 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸町民まつり実行委員会	
4 取組内容	農林産物等の品評会や町内でサークル活動をしている多くの人等がステージ発表や作品展示を行う。ステージ発表にあたっては、音響設備(カラオケ)を借り上げて、参加者の多くが楽しめる内容にすることや参加者同士の親睦交流を図る。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 住民同士の交流の機会が失われつつあるので、サークル活動をしている者等によるダンス、カラオケなどのステージ発表を行い、住民の親睦、交流を図る。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 阿戸町で活動しているサークル活動の発表の場を設けることで、生活文化の向上と親睦交流を図ることができる。音響設備が広島市阿戸福祉センターにないので、外部から借り上げることで、より一層雰囲気が高まり、町民まつりも盛り上がる。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・熊野川左岸の市道を散歩道とし、桜並木にイルミネーションを設置するとともに、河川護岸敷に彼岸花の植え付けを行う。散歩コースを歩くことにより健康の増進にもつなげる。
・イルミネーション 7月 試験点火
・彼岸花植え付け 8月末
・イルミネーション 11月～1月 本格実施

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	環境美化活動	(10)事業中 (8) 業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年7月～令和9年1月	
(2) 実施場所	阿戸町内一円	
(3) 参加者数	10人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・連合町内会・こども園・阿戸小中一貫校・公民館・女性会・公衛協・あと会・おやじの会	
4 取組内容	各種団体や学校等が連携して花いっぱいの阿戸町を目指して各公共施設の入口や各戸の家の前等を花で飾り、地域のつながりを深めていく。また、熊野川左岸の市道を散歩道とし、さくら並木をライトアップするとともに、彼岸花の植付を行い、ライトアップ、四季を彩る植栽、そして健康の拠点となることを目指す。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 花いっぱいの阿戸町を目指して、町民全員が取組むことで地域の参画意識を高める。また、左岸整備によって散歩コースをつくるなど健康増進を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 色とりどりの花で町民は明るい気持ちになり、地域に愛着がわくほか、みんなで汗を流しながら活動することでコミュニケーションの活性化にもつながる。また、散歩コースを歩くことにより健康増進につながる。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・社会福祉協議会の行う事業で、高齢者の参加が見込まれるものについては、送迎タクシーを借り上げて、参加者の増加を図る。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	高齢者交通手段の確保	(10) 事業中 (9) 業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年9月～令和9年3月	
(2) 実施場所	広島市阿戸福祉センター	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸地区社会福祉協議会	
4 取組内容	阿戸地区社会福祉協議会では、高齢者に対し福祉講座や世代間ふれあい交流会、敬老祝賀会を開催している。その際、交通手段の確保が困難な人に対して、送迎タクシーを借上げることで、交通の便がないところからも参加できるように配慮することにより、参加者数の増加を図る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 交流を楽しみにしている高齢者の送迎をすることにより、参加者の増加を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） タクシーを借上げることにより多くの方の参加を得ることができるとともに、そのことにより参加者が幅広く交流を深めることができる。	

令和8年度 いやしの里あと活性化プロジェクト事業計画書

1 今年度の目標

・ 昨年は、安芸区防災訓練を実施、多くの体験をすることができた。
・ 今年も、規模を縮小しながら地元住民・小中学校児童生徒が参加して防災訓練を行う。 特に、子どもたちには、被害想定を学び、防災体験等を行い災害発生に備える。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	防災訓練	(10) 事業中 (10) 業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 10 月 3 日	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校グラウンド・体育館	
(3) 参加者数	200 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・自主防災会・小中一貫校	
4 取組内容	阿戸小中一貫校を会場に、児童、生徒、学校関係者だけでなく近隣住民に参加を呼びかけ 200 名程度に参加してもらい、防災訓練を行う。 訓練終了後、参加者に防災グッズ等の配布を行い防災意識の啓発に努める。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 災害時、児童、生徒、地域住民がお互いに助け合いながら安全な避難行動をとるための訓練を実施する。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 阿戸の被害想定を学び、避難所の運営、防災体験等を行い災害発生に備える。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容